

平成 22 年度感染対策のラウンドにおける資料

1. 感染制御におけるキーポイント

- 薬剤や医療器具などの共用を避ける
- 処置時における手指衛生を励行する
- 薬液調製時において無菌調製を行う
- 尿・糞便処理時における手指衛生と適切な个人防护具の着用を行う
- 職業感染対策(咳エチケット、安全器材とシャープスコンテナの使用、ワクチンの接種)

2. ラウンドにおける留意点

- リスクを過大に考慮するあまり、エビデンスの乏しい対策を指導しない
- 指導事項は、優先順位、実現性や費用対効果、その他の業務への影響を考慮する
- 現場の要望を拾い上げ、管理者に伝達する改善活動支援も重要な役割である
- 地域における感染対策情報の共有が期待される

スタッフステーション		
	手洗い設備・水まわり	
1	液体石鹸とペーパータオルは設置されていますか？	☆
	調剤台・薬剤管理	
2	薬液調製台には速乾性アルコール手指消毒薬を設置し励行していますか？	☆
3	アルコール綿は清潔に管理していますか？ (多包剤の管理、万能壺への薬剤のつぎ足し使用はしないなど)	☆
4	注射針およびシリンジは、ディスポーザブル使用されていますか？ (採血に用いる場合、ガラス製シリンジ等は好ましくありません)	☆
5	安全機構付き注射針は採用されていますか？	
6	シャープスコンテナを採用するとともに、適切に廃棄していますか？ (患者に使用した器材はリキャップしない。薬液/状況によってはリキャップも可)	
8	共用薬剤は可能な限りないようにしていますか？ (ネブライザー薬液、ヘパリン生食、その他静注用薬剤など)	☆
9	調製・希釈した薬液は 24 時間以内の使い切りと冷蔵保管されていますか？	☆
	消毒・滅菌	
10	出来るだけ、消毒の質保証が困難な現場での消毒は避けていますか？	
11	アルコールなどによる噴霧消毒は行わないようにしていますか？	
12	消毒の濃度、時間、浸漬状態などは遵守されていますか？	
13	確実な消毒(MRSA や HBV 検出者のみ消毒は不可)がされていますか？	
14	共用する医療器具(ネブライザーなど)は患者毎に消毒または滅菌していますか？	
15	院内で滅菌する際には化学的・生物学的滅菌保証を行なっていますか？	
16	滅菌した医療機材は、使用期限が守られていますか？	

汚物処理室		
17	流水手洗い設備はありますか？ (鍵などの構造設備がある場合、アクセスが悪くなりますのでお奨めしません)	☆
18	液体石鹸とペーパータオル、速乾性アルコール手指消毒薬は設置していますか？	
19	手袋・エプロンもしくはガウンが設置され、患者毎に交換されていますか？ (オムツカートなどがあれば患者毎の交換についてより注意を促してください)	☆
20	陰部洗浄用ボトルなどは、患者毎に共有していませんか？	☆

病室		
21	手指衛生は基本的に速乾性アルコール手指消毒薬で行われていますか？	☆
22	採血時・検体取り扱い時には手袋を着用していますか？	
23	携帯用シャープスコンテナは採用されていますか？	
24	共用物品(剃刀、石鹸、シャンプー、タオルなど)は設置していませんか？	☆
25	気管吸引・口腔吸引など、体液に曝露されるような手技の場合は、ディスポーザブルの个人防护具を着用し、手指衛生を行なっていますか？	
26	嘔吐下痢症の吐物、抗菌薬関連下痢症(クロストリディウム・ディフィシル関連下痢症)患者周囲の場合は、次亜塩素酸を用いて環境清掃が行っていますか？	
27	リネン類のホルマリン薫蒸など、梅毒・HBV キャリアーの隔離など過剰な対応をしていませんか？	
28	空調設備などは、定期的にメンテナンスされていますか？	☆
29	配膳後の給食は適切に喫食されていますか？冷蔵庫の温度管理は適切ですか？(MRSA や HBV 陽性患者などを区別する必要はありません)	☆

内視鏡検査室		
30	専従の内視鏡管理者はいますか？	
31	消毒薬濃度チェックの記録はありますか？	☆
32	検査時・消毒時には手袋・ガウンを装着していますか？	
33	1回毎の消毒、漏水検知、ブラッシング、清潔な保管が行われていますか？	☆
34	内視鏡検査室は十分に換気が行われていますか？	

外来		
咳エチケット		
35	啓発ポスターを掲示し患者用速乾性アルコール手指消毒薬を設置していますか？	☆
36	発熱性呼吸器疾患のスクリーニングをしていますか？ (動線の分離は、構造設備・運用の可能な範囲で可)	☆
37	発熱性呼吸器疾患の診察において、医療従事者はマスクを着用していますか？	☆
手洗い設備・水まわり		
38	液体石鹸とペーパータオルは設置されていますか？ (処置室では必須。診察室では病棟よりはリスクは低いので必須ではありません)	
調剤台・薬剤管理		
39	薬液調製台には速乾性アルコール手指消毒薬を設置し励行していますか？	☆
40	アルコール綿は清潔に管理していますか？ (多包剤の管理、万能壺への薬剤のつぎ足し使用はしないなど)	
41	安全機構付き注射針は採用されていますか？	
42	シャープスコンテナを採用するとともに、適切に廃棄していますか？ (患者に使用した器材はリキャップしない。薬液/状況によってはリキャップも可)	
43	共用薬剤は可能な限りないようにしていますか？ (ネブライザー薬液、ヘパリン生食、その他静注用薬剤など)	☆
44	調製・希釈した薬液は24時間以内の使い切りと冷蔵保管されていますか？	☆
45	散瞳薬など、共用する検査薬は清潔に管理されていますか？	
消毒・滅菌		
46	可能な限り、消毒の質保証が困難な現場での消毒は避けていますか？	
47	手洗いはベースンを使用せず、流水もしくはアルコールで行っていますか？	☆
48	浸漬消毒をおこなっている際には、きちんと浸漬されていますか？	
49	確実な消毒(MRSA や HBV 検出者のみ消毒は不可)がされていますか？	
50	ネブライザー管の消毒もしくは滅菌は患者毎に消毒または滅菌していますか？	